

LACSオンライン講習会 ～ビデオ配信編～

ICT基盤センター 古賀 掲維

この講座は、長崎大学の教育支援システムである「LACS」における、「ビデオ配信」について、教職員向けに説明した講座です。

アジェンダ

1. [ビデオ配信システムについて](#)
2. [ビデオの配信手順](#)
3. [視聴状況の管理](#)
4. [問い合わせ先](#)

この講座で説明している内容は、ビデオ配信システムについて、ビデオの配信手順、視聴状況の管理についてです。

LACSへのサインイン方法などの基礎的な内容については、別途開講している「入門編」をご参照ください。

それでは、始めましょう。

1. ビデオ配信システムについて

- クラウドサービス(Amazon Web Services)を用いてビデオの配信管理を行うシステム
- LACSから呼び出して利用
- 特徴
 - 自動エンコード
 - マルチデバイス対応
 - 詳細な視聴ログの取得
 - 360度VR動画対応

ビデオ配信システムは、クラウドサービスを用いてビデオの配信管理を行うシステムです。

LACSから呼び出して、利用します。

ビデオ配信システムの特徴としては、配信に適したフォーマットへの自動エンコード、マルチデバイス対応、詳細な視聴ログの取得、360度VR動画への対応をあげることができます。

なお、LACS自体にも、ビデオ配信のための仕組みが用意されていますが、ビデオファイルがダウンロードできてしまう、視聴ログが取れないなどの理由から、非推奨となっています。

2. ビデオの配信手順

- 配信の流れ
- ビデオ配信システムの起動
- ビデオの追加
- プロファイルの作成
- LACSへのビデオの配置
- 演習

それでは、ビデオの配信手順について説明していきます。

配信の流れ、ビデオ配信システムの起動、ビデオの追加、プロファイルの作成、LACSへのビデオの配置、演習という順番で説明していきます。

2. ビデオの配信手順

配信の流れ

- ① ビデオ配信システムの起動
- ② ビデオの追加
 - ・ ビデオをアップロードし、エンコード処理を行う
- ③ プロファイルの作成
 - ・ コースごとに再生設定を行う
 - ・ 視聴状況はプロファイルごとに管理
- ④ LACSへのビデオの配置
 - ・ 専用のコンテンツ「動画 (Azure)」を使用
 - ・ システムへのリンクをコースメニューに作成

ビデオ配信システムを用いた、LACSでのビデオ配信の流れは、ここに示すような流れとなります。

まず、LACSから、ビデオ配信システムを起動します。

次に、ビデオ配信システムへ、ビデオの追加を行います。
ビデオをアップロードすると、自動的にエンコード処理が行われます。

ビデオを追加したら、次は、プロファイルの作成を行います。
プロファイルは、再生設定などをまとめたもので、コースごとや、用途ごとに作成します。なお、視聴状況は、プロファイルごとに管理されます。

プロファイルが作成できたら、LACSへのビデオの配置を行います。
LACSへビデオを配置するには、専用のコンテンツの「動画(Azure)」を使用するか、コースメニューにシステムへのリンクを作成します。

2. ビデオの配信手順

ビデオ配信システムの起動（1）



① ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択

② 「詳細&操作」欄から「外部ツール」を選択

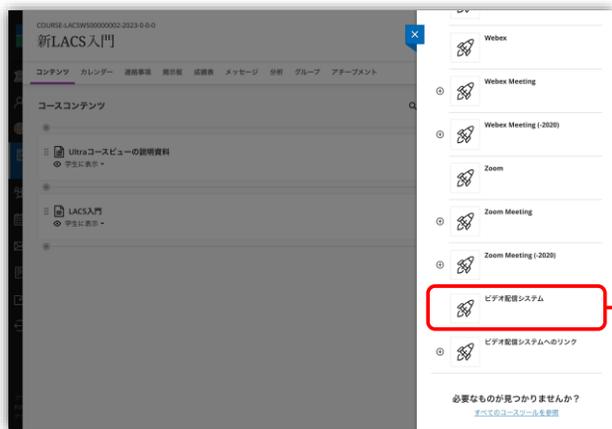
それでは、ビデオ配信の手順について説明します。

まず、ビデオ配信を行いたいコースを開き、ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択してコースコンテンツページを開きます。

次に、右側にある「詳細&操作」欄から、「外部ツール」を選択します。

2. ビデオの配信手順

ビデオ配信システムの起動 (2)

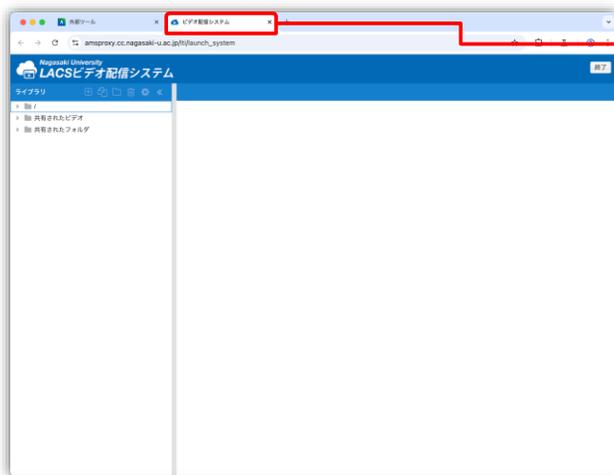


③ 「ビデオ配信システム」を探して選択

右側に「外部ツール」パネルが表示されたら、「ビデオ配信システム」を探して選択します。

2. ビデオの配信手順

ビデオ配信システムの起動 (3)

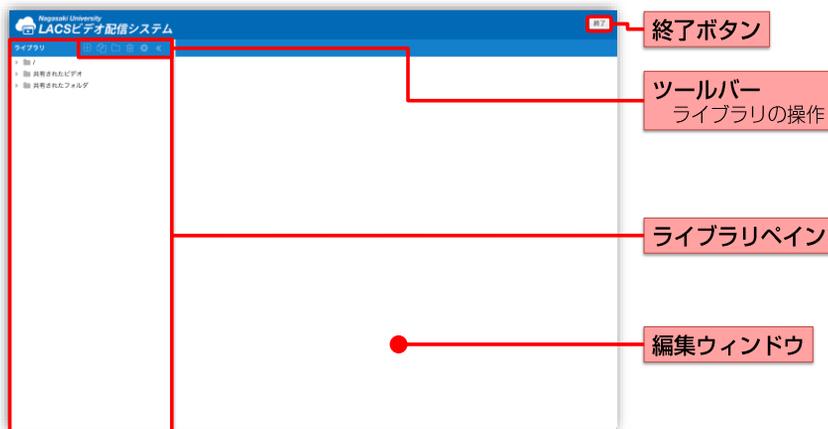


④ 新しいタブが開き、ビデオ配信システムが起動

すると、新しいタブが開き、ビデオ配信システムが起動します。

2. ビデオの配信手順

ビデオ配信システムの画面構成（1）



ここで、ビデオ配信システムの画面構成を確認しておきます。
画面に表示された項目を、上から順に見ていきます。

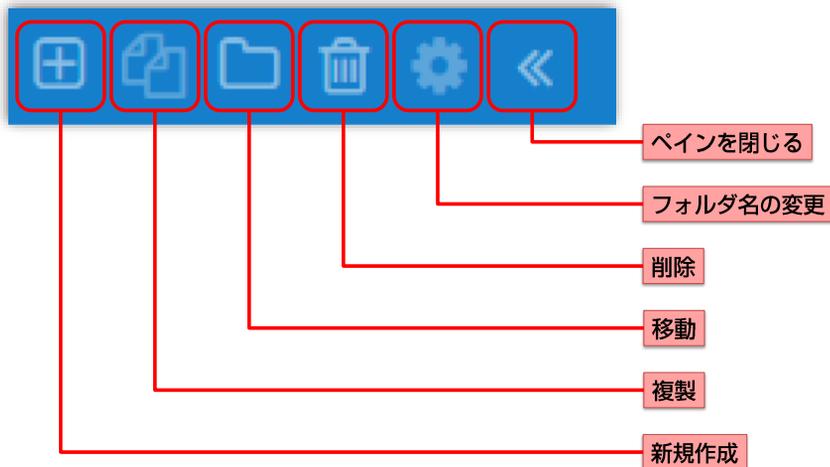
右上にある終了ボタンは、ビデオ配信システムを終了する場合に使用します。

左側のロゴの下には、ライブラリを操作するためのツールバーが用意されています。
左側の分割された領域は、ライブラリペインで、自分のフォルダやビデオ、共有されたビデオやフォルダが表示されます。

右側の領域は、編集ウィンドウで、ビデオやプロフィールを選択した際に、設定ページが表示されます。

2. ビデオの配信手順

ビデオ配信システムの画面構成（2）



画面は、ツールバーを拡大したものです。左から順に見ていきます。

「新規作成」ボタンは、クリックすると、メニューが表示され、フォルダの作成、ビデオの追加、プロファイルの作成を行うことができます。

「複製」ボタンは、プロファイルを選択してクリックすると、プロファイルの複製を行うことができます。

「移動」ボタンは、クリックすると、フォルダやビデオを移動することができます。

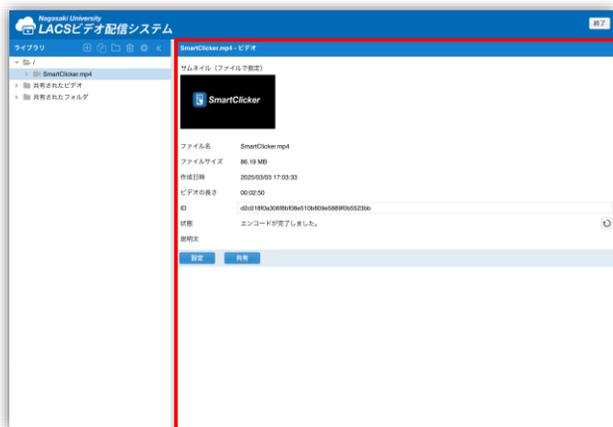
「削除」ボタンは、クリックすると、フォルダ、ビデオ、プロファイルの削除が行えます。

「フォルダ名の変更」ボタンは、クリックすると、フォルダ名を変更することができます。

「ペインを閉じる」ボタンは、クリックすると、ライブラリペインの開閉を行うことができます。

2. ビデオの配信手順

ビデオ配信システムの画面構成（3）



ビデオの編集ウィンドウ
ビデオの設定（サムネイル、説明文）
ビデオの共有

画面は、ビデオの編集ウィンドウです。
ライブラリペインで、ビデオを選択した場合に表示されます。

ビデオの編集ウィンドウでは、ビデオの設定、ビデオの共有を行うことができます。

2. ビデオの配信手順

ビデオ配信システムの画面構成（４）

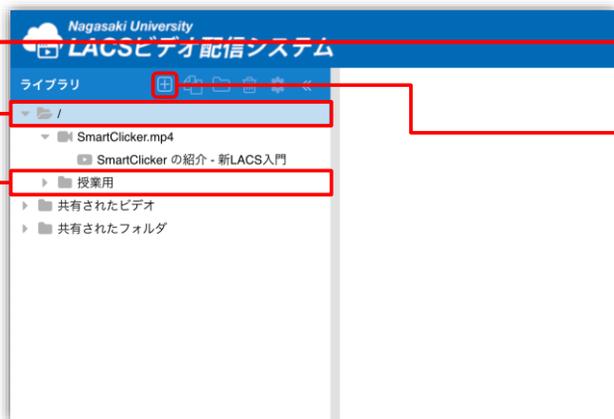


プロファイルの編集ウィンドウ
プロファイルの設定（視聴設定）
視聴状況の管理
プロファイルの共有

画面は、プロファイルの編集ウィンドウです。
ライブラリペインで、プロファイルを選択した場合に表示されます。

プロファイルの編集ウィンドウでは、プロファイルの設定、視聴状況の管理、プロファイルの共有を行うことができます。

2. ビデオの配信手順 ビデオの追加（1）



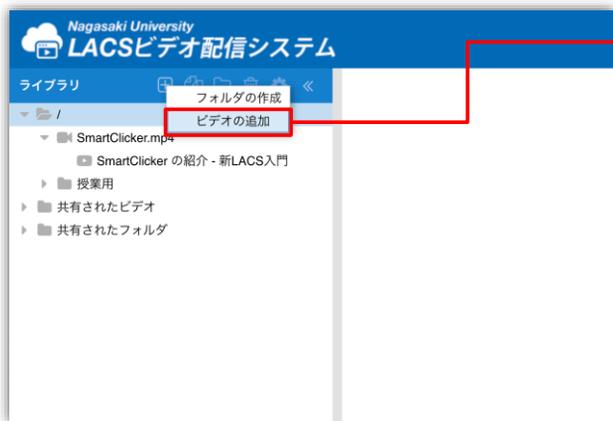
① ライブラリペインで「/」または、作成したフォルダを選択

② ツールバーから「新規作成」ボタンをクリック

次に、ビデオの追加について説明します。

左側のライブラリペインで、スラッシュの文字のルートフォルダ、または、作成したフォルダを選択し、ツールバーから「新規作成」ボタンをクリックします。

2. ビデオの配信手順 ビデオの追加 (2)



③ 表示されるメニューから「ビデオの追加」を選択

すると、メニューが表示されますので、「ビデオの追加」を選択します。

2. ビデオの配信手順 ビデオの追加 (3)

④ 「Browse...」をクリック

⑤ 「利用するメディアサービス」を選択
※ 「標準 (QVBR)」を選択

⑥ 「エンコード方式」を選択
※ 「自動エンコード」を選択

⑦ 「OK」をクリック

追加できるビデオのサイズは以下の通りです

- 画素サイズ: 1,920×1,080以下
- ファイルサイズ: 1GB以下

「ビデオの追加」を選択すると、画面のようなダイアログが表示されますので、「ブラウズ」ボタンをクリックして、ビデオのファイルを選択します。

次に、「使用するメディアサービス」のプルダウンメニューから、「標準」を選択します。

また、エンコード方式は「自動エンコード」を選択します。

設定が終わったら、「OK」ボタンをクリックします。

なお、追加できるビデオのサイズは、画素サイズが1,920×1,080以下、ファイルサイズが1GB以下となっています。

2. ビデオの配信手順 ビデオの追加（４）



⑧ ビデオのアップロードおよびエンコードが開始される

⑨ 状態を確認するには、更新ボタンをクリックしてください

⑩ エンコードが完了するのを待つ
※ エンコード中はシステムを離れてもよい

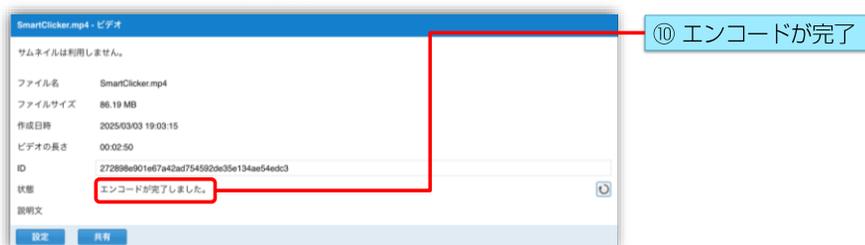
すると、ビデオのアップロードおよびエンコードが開始されます。

エンコード処理の状態は、右側のビデオ編集ウィンドウの、「状態」欄で確認できます。

状態を更新するには、欄右端の矢印ボタンをクリックします。

なお、エンコードは、バックグラウンドで実行されますので、エンコードが開始したらシステムを離れても大丈夫です。

2. ビデオの配信手順 ビデオの追加 (5)



エンコードが完了すると、状態欄に、「エンコードが完了しました」と表示されます。

2. ビデオの配信手順 プロファイルの作成（1）



① ライブラリペインでビデオを選択

② ツールバーから「新規作成」ボタンをクリック

ビデオの追加が終わったら、プロファイルを作成します。

プロファイルは、再生設定などをまとめたもので、コースごとや、用途ごとに作成します。

左側のライブラリペインから、プロファイルを追加したいビデオを選択し、ツールバーから、「新規作成」ボタンをクリックします。

2. ビデオの配信手順 プロファイルの作成 (2)



③ 表示されるメニューから「プロファイルの作成」を選択

すると、メニューが表示されますので、「プロファイルの作成」を選択します。

2. ビデオの配信手順

プロフィールの作成 (3)

プロフィールの作成

このプロフィールは以下のコースに登録されます。

新LACS入門 (COURSE-LACSW00000002-2023-0-0-0)

新しいプロフィール名

キャンセル OK

④ プロファイルの名称を入力

⑤ [OK] ボタンをクリック

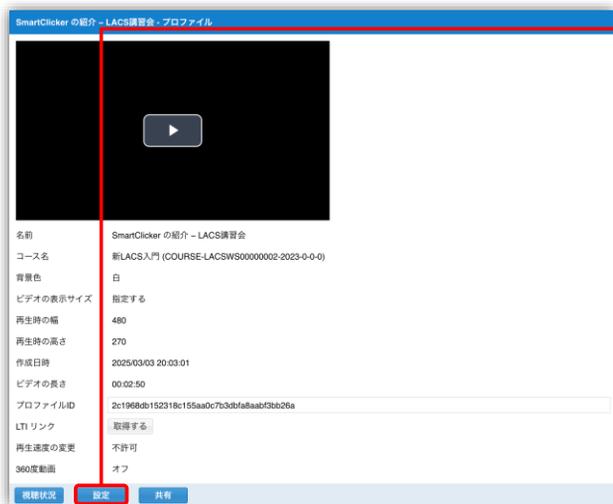
💡 プロファイルはシステムを呼び出したコースに紐づけられます。複数のコースで同じビデオを使用する場合は、各コースからシステムを呼び出しプロフィールを作成します。

「プロフィールの作成」をクリックすると、画面のようなダイアログが表示されますので、「新しいプロフィール名」欄に、プロフィールの名前を入力します。

プロフィールの名前は、後で選択しやすいように、コース名とビデオ名がわかる名前にしておくとよいでしょう。

なお、プロフィールは、システムを呼び出したコースに紐付けられます。複数のコースで、同じビデオを使用する場合は、各コースからシステムを呼び出し、新たにプロフィールを作成してください。

2. ビデオの配信手順 プロファイルの作成（4）



⑥ 「設定」をクリック

プロファイルの作成が完了すると、右側に、プロファイルの編集ページが表示されますので、下にある「設定」ボタンをクリックし、プロファイルの設定を行います。

2. ビデオの配信手順 プロフィールの作成 (5)

SmartClicker の紹介 - LACS講習会 - プロファイル

キャンセル 保存

名前 SmartClicker の紹介 - LACS講習会

背景色 白 黒

元のサイズで表示する
 ビデオの表示サイズを指定する

再生時の幅 480

再生時の高さ 270

元のサイズに戻す

縦横比を維持する

このプロフィールを無効とする

ビデオの再生速度の変更を許可する

360度動画(エキレクタングラー形式)として再生する

コース外からのアクセスを許可する

視聴開始日時

視聴終了日時

アクセス制限の設定

⑦ プロファイルの設定を行う

- プロフィール名の変更
- プレーヤー背景色の設定
- ビデオ表示サイズの設定
- プロフィールの無効化
- ビデオの再生速度の変更許可
- 360度動画として再生
- コース外からのアクセス許可
- 視聴期間の設定
- アクセス制限の設定
IPアドレス/ネットワークで指定

プロフィールで設定できる項目は、画面の通りです。

プロフィールの名称の変更、背景色の選択、ビデオ表示サイズの設定、プロフィールの無効化、ビデオの再生速度の変更許可、360度動画として再生、コース外からのアクセスの許可、視聴期間、IPアドレスによるアクセス制限などが設定できます。

2. ビデオの配信手順

LACSへのビデオの配置

- 特定のビデオへ誘導する場合
 - 「**動画 (ビデオ配信システム)**」コンテンツを利用
- システムへ誘導する場合
 - 「**ビデオ配信システムへのリンク**」を利用
 - ビデオ数が多い場合に便利

続いて、LACSへのビデオの配置について説明します。

LACSで、ビデオ配信システムを用いてビデオを配置するには、二つの方法があります。

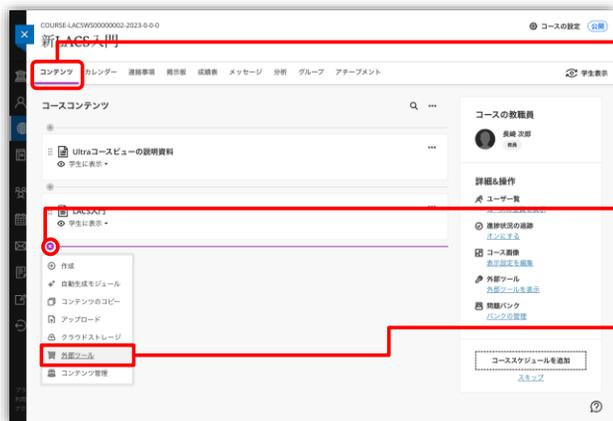
一つは、「**動画(ビデオ配信システム)**」コンテンツを利用する方法です。

もう一つは、「**ビデオ配信システムへのリンク**」を利用する方法です。
システムへのリンクを利用する方法は、ビデオ数が多い場合に便利です。

それでは、それぞれの方法について説明していきます。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（1）



① ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択

② 「コンテンツの追加」（コンテンツが配置済みの場合は(+)）ボタンをクリック

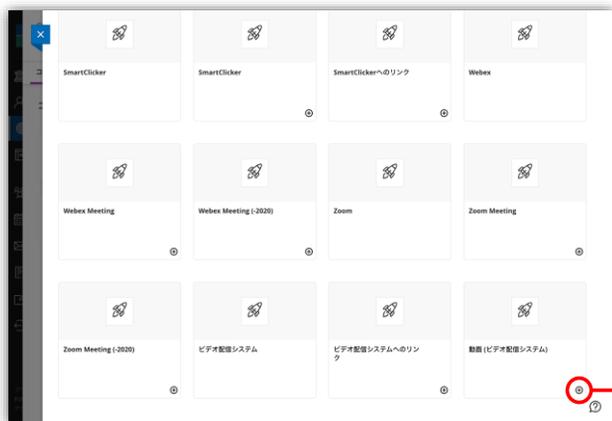
③ 「外部ツール」を選択

「動画(ビデオ配信システム)」コンテンツを用いて、ビデオを配置するには、まず、ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択します。

次に、「コンテンツの追加」ボタン、または、プラスボタンをクリックしてメニューを呼び出し、メニュー項目から「外部ツール」を選択します。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（2）



④ 「動画 (ビデオ配信システム)」を探し、右下の(+)ボタンをクリック

すると、「外部ツール」ページが表示されますので、「動画(ビデオ配信システム)」コンテンツを探し、右下のプラスボタンをクリックします。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（3）

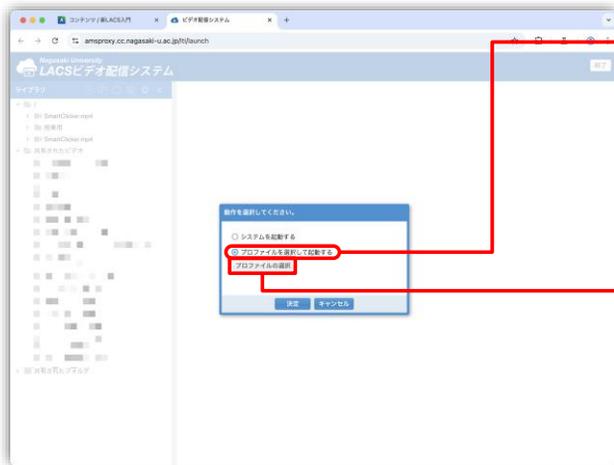


⑤ 追加された「動画 (ビデオ配信システム)」をクリック

プラスボタンをクリックすると、「コースコンテンツ」ページに、「動画(ビデオ配信システム)」コンテンツが追加されますので、クリックします。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（4）



⑥ 「プロフィールを選択して起動する」を選択

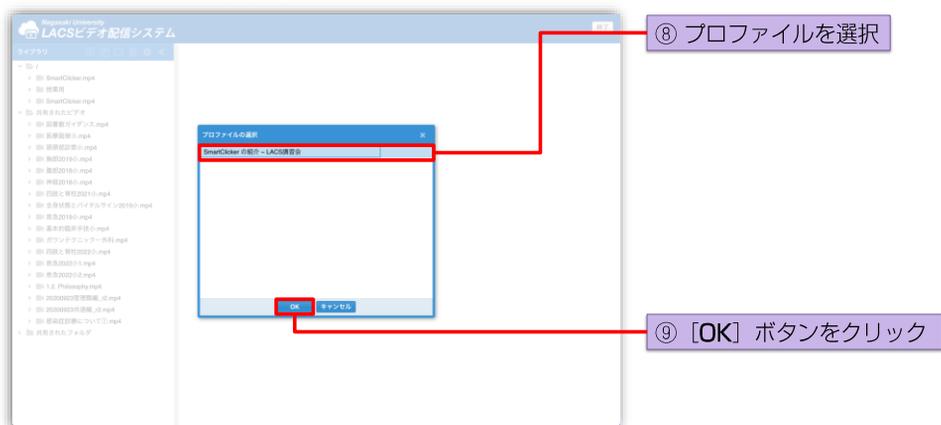
⑦ [プロフィールの選択] をクリック

すると、別なタブで、ビデオ配信システムが起動し、動作を選択するダイアログが表示されます。

ダイアログが表示されたら、「プロフィールを選択して起動する」を選択し、さらに、「プロフィールの選択」ボタンをクリックしてください。

2. ビデオの配信手順

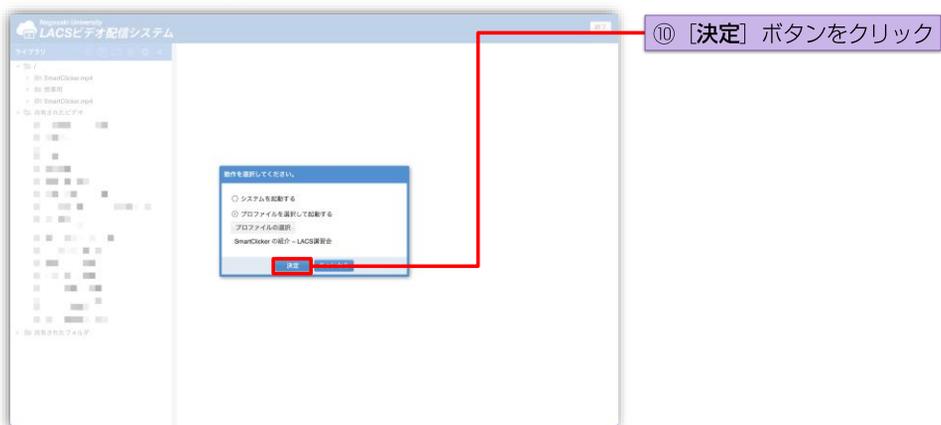
ビデオの配置：コンテンツ（5）



すると、「プロファイルの選択」ダイアログが表示され、コースに紐付けられたプロファイルの一覧が表示されますので、配置したいプロファイルを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

2. ビデオの配信手順

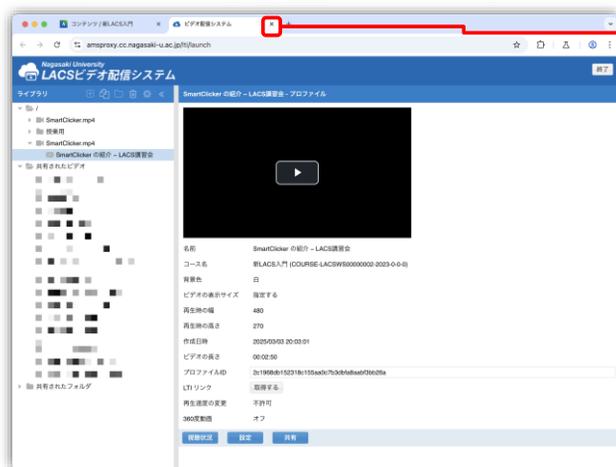
ビデオの配置：コンテンツ（6）



「プロファイルの選択」ダイアログが閉じたら、「決定」ボタンをクリックしてください。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（7）



① タブを閉じる

プロフィールの編集ページが表示されたら、タブを閉じて、ビデオ配信システムを終了します。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（8）



⑧ メニューを表示させ「編集」を選択

次に、コンテンツの編集を行います。

「動画(ビデオ配信システム)」コンテンツのメニューを表示し、「編集」を選択してください。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（9）

The screenshot shows the LACS system interface for configuring video content. The main window displays a list of content items, with 'SmartClickerの紹介' selected. A configuration panel is open for this item, showing fields for '名前' (Name), '表示設定' (Display Settings), '成績' (Grade), and '説明' (Description). The '名前' field is highlighted with a red box and labeled 13. The '表示設定' dropdown menu is highlighted with a red box and labeled 14. The '成績' section has a checkbox 'この項目の成績表エントリを作成' (Create grade entry for this item) which is checked, highlighted with a red box, and labeled 14. The '説明' text area is highlighted with a red box and labeled 15. The '保存' (Save) button is highlighted with a red box and labeled 16. Two callout boxes provide additional information: one about setting release conditions and another about enabling view rate as a grade component.

⑬ 名前を変更

⑭ 「学生に表示」を選択

利用可能な日付/時刻を設定したい場合は、リリース条件ではなくビデオ配信システムで設定を行ってください

オンにすると視聴率を成績の一部とすることができます

⑮ 「説明」を入力

⑯ 「保存」をクリック

すると、右側に「編集」パネルが開きますので、まずは「名前」を変更します。

次に、表示設定を「学生に表示」に変更します。

なお、利用可能な日付と時刻を設定したい場合は、リリース条件ではなく、ビデオ配信システムのプロファイルの設定で行ってください。

また、「この項目の成績表エントリを作成」をオンにすると、視聴率を成績の一部とすることができます。

必要であれば、「説明」欄を入力します。

設定が完了したら、「保存」ボタンをクリックしてパネルを閉じます。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（10）

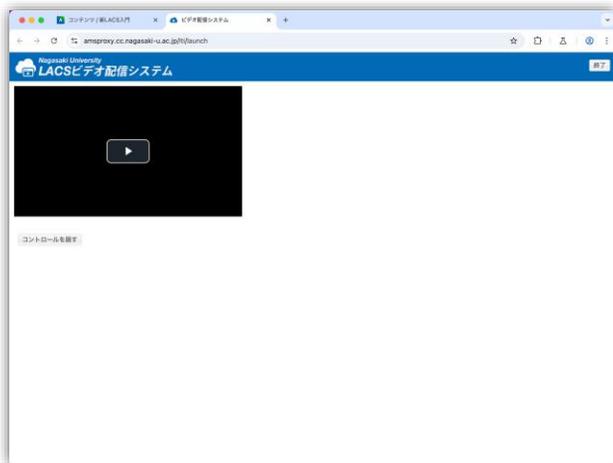


⑰ ビデオ配信の準備が整った

以上で、ビデオ配信の準備が整いました。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：コンテンツ（11）



設定済みのコンテンツにアクセスするとプレビュー表示となります

なお、設定済みのコンテンツにアクセスすると、ビデオ配信システムがプレビューモードで起動します。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：システムへのリンク（1）



The screenshot shows the LACS system interface for course management. The 'Contents' menu item in the top navigation bar is highlighted with a red box and a callout box labeled '① ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択'. On the right-hand side, under the 'Details & Operations' section, the 'External Tools' option is highlighted with a red box and a callout box labeled '② 「詳細&操作」欄から「外部ツール」を選択'. The interface also shows course content on the left and course staff information on the right.

次は、「ビデオ配信システムへのリンク」の配置について説明します。

「ビデオ配信システムへのリンク」を配置するには、まず、ナビゲーションバーから「コンテンツ」を選択します。

次に、右側の「詳細&操作」欄から、「外部ツール」を選択します。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：システムへのリンク（2）



③ 「ビデオ配信システムへのリンク」を探し、左側の(+)ボタンをクリック

右側に「外部ツール」パネルが表示されたら、「ビデオ配信システムへのリンク」を探して、項目の左側にある、プラスボタンをクリックします。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：システムへのリンク（3）



④ メニューを表示させ「編集」を選択

次に、リンクの編集を行います。

「ビデオ配信システムへのリンク」のメニューを表示し、「編集」を選択してください。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：システムへのリンク（4）

The screenshot displays the '新LACS入門' (New LACS Introduction) course page. A modal window is open for editing a video link. The video title is 'ビデオ配信システムへ...' (Video Distribution System...). The '表示' (Display) dropdown menu is set to '学生に表示' (Display to students). The '説明' (Description) field is empty. The '保存' (Save) button is highlighted in red. Red boxes and arrows point to these elements, corresponding to the numbered instructions on the right.

- ⑤ 名前を変更
- ⑥ 「学生に表示」を選択
- ⑦ 「説明」を入力
- ⑧ 「保存」をクリック

すると、右側に「編集」パネルが開きますので、必要に応じて「名前」を変更してください。

次に、表示設定を「学生に表示」に変更します。

必要であれば、「説明」欄を入力します。

設定が完了したら、「保存」ボタンをクリックしてパネルを閉じます。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：システムへのリンク（4）

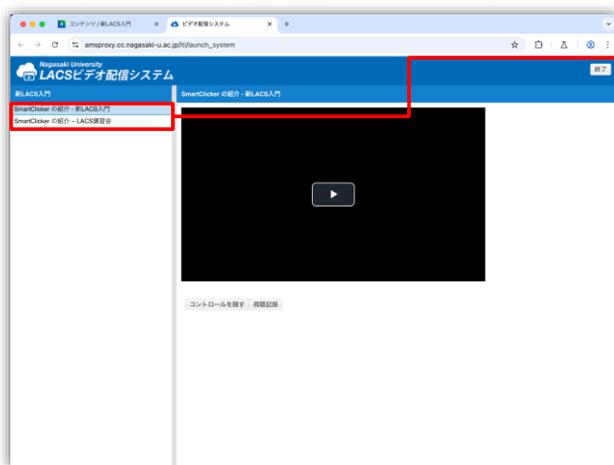


⑨ システムへのリンクが配置された

以上で、ビデオ配信システムへのリンクが配置されました。

2. ビデオの配信手順

ビデオの配置：システムへのリンク（5）



学生ユーザーで起動した場合、アクセス元のコースで利用可能なプロフィールの一覧が表示される

なお、学生ユーザーで、このリンクから「ビデオ配信システム」を起動した場合は、アクセス元のコースで利用可能なプロフィールの一覧が表示され、この画面から、それぞれのビデオへアクセスできるようになります。

2. ビデオの配信手順

演習

- ① 教員ユーザでビデオ配信システムにビデオを追加し、プロフィールを作成してみましょう
- ② 教員ユーザで「コースコンテンツ」ページに「動画 (ビデオ配信システム)」でビデオを配置してみましょう
- ③ 学生ユーザでビデオを視聴してみましょう
 - ・ 別なブラウザ、または、Google Chromeのプライベートウィンドウを開き、学生確認用ID(ss+職員番号)でサインインします

それでは、以上の説明をもとに、ビデオ配信システムを用いた、ビデオの配置の操作演習を行ってみてください。

まず、教員ユーザーで、ビデオ配信システムを起動して、ビデオを追加し、プロフィールを作成してみましょう。

次に、教員ユーザーで、「コースコンテンツ」ページに、「動画(ビデオ配信システム)」を用いて、ビデオを配置してみましょう。

次に、学生ユーザーで、配置したコンテンツを開き、ビデオを視聴してみましょう。
なお、学生ユーザーで操作する場合は、別なブラウザか、シークレットウィンドウを使用してください。

それでは、このビデオを一時停止して、演習が終わったら、ビデオを再開してください。

3. 視聴状況の管理

- 以下の視聴状況を確認可能
 - 視聴開始・終了日時
 - 視聴時間
 - 総視聴時間
 - 視聴率
 - 再生回数
 - 再生前の操作
- 以下の可視化(グラフ表示)が可能
 - 曜日毎、時間毎の視聴時間の分布
 - 特定時間の再生回数の分布
 - 視聴率の分布
- 視聴状況はCSV形式でダウンロード可能

続いて、ビデオ配信システムにおける、視聴状況の管理について説明します。

ビデオ配信システムでは、視聴状況として、視聴開始および終了日時、視聴時間、総視聴時間、視聴率、再生回数、再生前の操作を確認できます。

視聴状況は、CSV形式でダウンロードすることもできます。

また、曜日ごと、時間ごとの視聴時間の分布、特定時間の再生回数の分布、視聴率の分布を、グラフを用いて可視化することができます。

3. 視聴状況の管理

視聴状況の確認手順（1）

The screenshot shows the LACS video distribution system interface. On the left, a library pane lists several video profiles, with 'SmartClicker の紹介 - LACS講義録' selected and highlighted by a red box. A red line connects this box to a callout box labeled '① ライブラリからプロフィールを選択'. On the right, the profile details are displayed, including course name, video size, and duration. At the bottom of the details, a red box highlights the '視聴状況' (Viewing Status) button, with a red line connecting it to a callout box labeled '② [視聴状況] をクリック'.

それでは、ビデオ配信システムで視聴状況を確認する手順を説明します。

まず、LACSから、ビデオ配信システムを起動します。
なお、どのコースから起動しても、視聴状況の確認は可能です。

ビデオ配信システムが起動したら、左側のライブラリペインから、視聴状況を確認したいプロフィールを選択します。

次に、右側に表示される、プロフィールの編集ウィンドウの下にある、「視聴状況」ボタンをクリックします。

3. 視聴状況の管理

視聴状況の確認手順 (2)

ユーザー名	視聴開始日時	視聴終了日時	視聴時間	視聴率	総視聴時間	再生回数
ss83755929	2019/09/05 13:32:26	2019/09/05 14:28:30	0:02:50	100%	0:03:15	1
bb99999999	2019/09/05 14:32:31	-	0:00:48	28%	0:00:48	1
bb12345678	2019/09/05 14:28:51	2019/09/05 14:32:02	0:02:50	100%	0:03:08	1

③ 視聴状況の一覧が表示される

④ 各学生の詳細な視聴状況を確認するには、学生行をクリック

すると、編集ウィンドウが視聴状況のページに変わり、ユーザーごとの視聴状況の一覧が表示されます。

この一覧の、「視聴開始日時」は、学生が最初にビデオの再生を開始した日時です。

「視聴終了日時」は、学生がビデオの再生範囲全てを再生した、すなわち、視聴率が100%になった日時です。

「総視聴時間」には、学生がビデオのある区間を2回以上再生した場合の、延べの再生時間が表示されます。

次に、各ユーザーの詳細な視聴状況を確認するには、各ユーザーの「行」をクリックします。

3. 視聴状況の管理

視聴状況の確認手順（3）

ビデオのサンプル: 視聴状況 (ss63755929)

戻る

再生番号	ログ番号	開始日時	開始時間	終了時間	視聴時間	再生前の操作
1	1	2019/09/05 14:25:11	0:00:00	0:00:07	0:00:07	ビデオ読み込み
1	2	2019/09/05 14:25:19	0:00:07	0:00:14	0:00:07	停止
1	3	2019/09/05 14:25:26	0:00:36	0:00:37	0:00:01	スキップ
1	4	2019/09/05 14:25:27	0:01:04	0:01:05	0:00:01	スキップ
1	5	2019/09/05 14:25:29	0:01:30	0:01:31	0:00:01	スキップ
1	6	2019/09/05 14:25:30	0:01:57	0:01:58	0:00:01	スキップ
1	7	2019/09/05 14:25:30	0:02:27	0:02:28	0:00:01	スキップ
1	8	2019/09/05 14:25:32	0:02:44	0:02:50	0:00:06	スキップ
1	9	2019/09/05 14:25:40	0:00:00	0:02:50	0:02:50	巻き戻し

⑤ 詳細な視聴状況が表示される

画面は、ユーザーの詳細な視聴状況です。

「再生番号」は、一連の視聴に付く連番で、「ログ」番号は、停止やスキップ、巻き戻しなどの操作を行った際に付く連番となっています。

「開始日時」は、何かの操作後に再生が開始された時刻、「開始時間」は、その「ログ」で再生を開始したビデオの位置、「終了時間」は、その「ログ」で再生を終了したビデオの位置となっています。

「視聴時間」は、その「ログ」におけるビデオの視聴の長さです。

また、「再生前の操作」は、その「ログ」が記録される前に行われた操作になります。例えば、「ビデオの読み込み」は、システムにアクセスし、ビデオが再生準備に入ったことを示します。

「停止」は、ビデオが一度停止され、そして再生されたことを示しています。

3. 視聴状況の管理

視聴状況の可視化手順（1）

ビデオのサンプル - 視聴状況

戻る **グラフ** ダウンロード 視聴状況のクリア

ユーザー名	視聴開始日時	視聴終了日時	視聴時間	視聴率	総視聴時間	再生回数
ss83755929	2019/09/05 13:32:26	2019/09/05 14:28:30	0:02:50	100%	0:03:15	1
bb99999999	2019/09/05 14:32:31	-	0:00:48	28%	0:00:48	1
bb12345678	2019/09/05 14:28:51	2019/09/05 14:32:02	0:02:50	100%	0:03:08	1

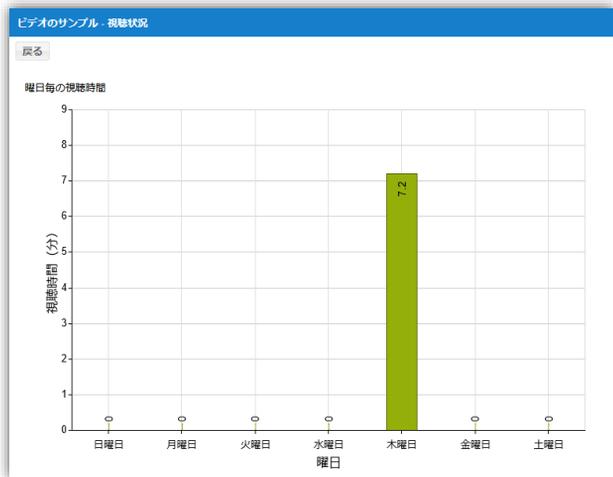
① [グラフ] をクリック

次に、視聴状況の可視化について説明します。

「視聴状況」ページの、「グラフ」ボタンをクリックすると、視聴状況を可視化したグラフを表示することができます。

3. 視聴状況の管理

視聴状況の可視化手順（2）



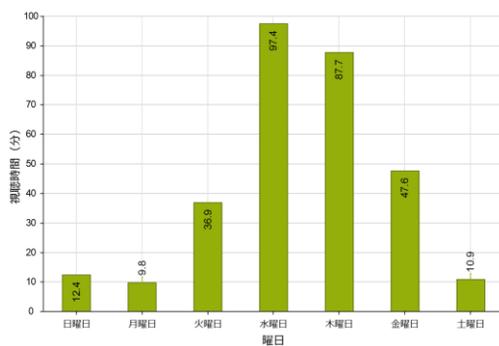
② 視聴状況のグラフが表示される

「グラフ」ボタンをクリックすると、このようなグラフが表示されます。

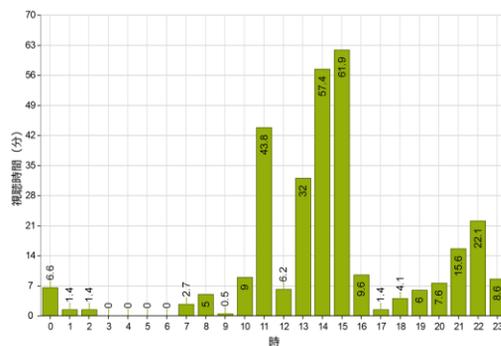
3. 視聴状況の管理

視聴状況の可視化手順（3）

曜日ごとの視聴時間



時間ごとの視聴時間

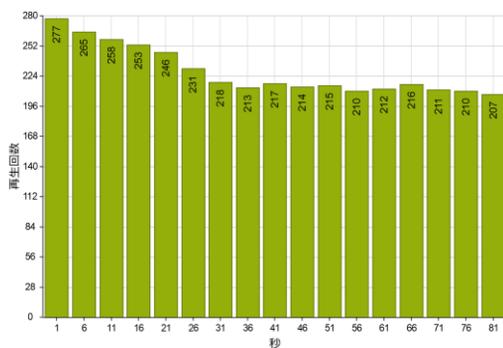


画面左側は、曜日ごとの視聴時間、右側は、時間ごとの視聴時間のグラフです。

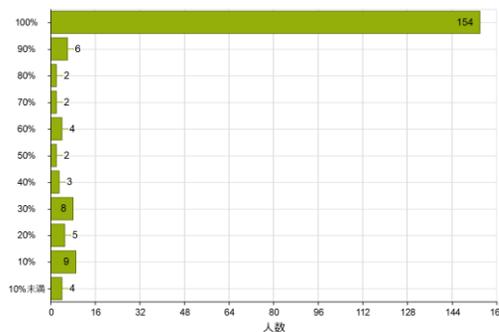
3. 視聴状況の管理

視聴状況の可視化手順（4）

区間ごとの再生回数



視聴率ごとの人数



画面左側は、ビデオの区間ごとの再生回数、右側は、特定の視聴率範囲の人数を表したグラフです。

3. 視聴状況の管理

演習

- ① 教員ユーザーで視聴状況を確認してみましょう

それでは、以上の説明をもとに、ビデオ配信システムで、視聴状況の確認を行ってみてください。

教員ユーザーで、「ビデオ配信システムへのリンク」からビデオ配信システムを起動して、プロフィールを開き、視聴状況を確認してみましょう。

それでは、このビデオを一時停止して、演習が終わったら、ビデオを再開してください。

4. お問い合わせ先

- LACSの利用方法に関するご質問は、ICT基盤センターへお願いいたします
- ICT基盤センター LACSサポート窓口
 - 電子メールでのお問い合わせ
 - lacs_support@gl.nagasaki-u.ac.jp
 - LACSサポート窓口
 - LACSの「コミュニティ」ページからアクセス

最後に、LACSの問い合わせ先を紹介して、この講座を終わりたいと思います。

LACSの利用方法に関するご質問は、ICT基盤センターの、LACSサポート窓口へお願いいたします。

画面に表示されている、メールアドレスまで、電子メールでお問い合わせください。

また、LACSのコミュニティとして、「LACSサポート窓口」を開設しております。こちらのコミュニティも、是非ご活用ください。

以上で、本講座は終了となります。

何かご質問がある場合には、LACSサポート窓口まで、電子メールでお問い合わせください。

オンラインでの講習、お疲れ様でした。